
旧人新世界

KTOSEI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

旧人新世界

【NNコード】

N8473Z

【作者名】

KTOSEI

【あらすじ】

3500年、今と全く変わらない世の中。

この気の遠くなる程長い時間で、人間は全員が同じ立場でいられる「平等」、そして争いは無益な物だと考えた者によつて作られる「平和」、この様な世界の中で、それが当たり前だと思いながら生活を続けている。

しかし、その平和は長くは続かなかつた、人々は新たに「差別」によって生活に大きな違いが出来た、その中で人々はなにを思うのか……。

1章、古き者の希望

「お前みたいな奴ら、邪魔でしかないんだよ…」

「…………」

夕日が沈みそうな夕方の公園、五人の小学生くらいの少年たちはその中の腕輪をつけていない一人を

腕輪をつけた少年四人がかりで責めていた。

「なあ、こんな奴相手にしても時間の無駄だよ、帰ろうぜー。」

四人の中の一人がそう言つてその場を去るうつとすると、他の三人も続いて立ち去つていく。

「…………新人類なんて…………。」

残された一人はそう言つて夕日を背に歩きだした。

「くそつ…………」

少年はさつきの四人からの傷を負つていた。

「ねえ、大丈夫！？」

「…………」

一人の腕輪をつけた少年が心配そうに腕輪をつけていない少年に話しかける。

「ねえ、怪我をしてるけど何かあつたの？」

「…………」

「ねえつてば！」

「…………」

「ねえ！」

何を言つても答えない腕輪をつけていない少年に、腕輪をつけた少年は何度も話しかける。

「五月蠅い、俺に構うな。」

それはそつけない返答だった。

「あ、やつと答えてくれたね！」

腕輪をつけた少年の顔には笑顔が浮かんでいた。

「何の用だよ……」

「何の用つて……君、怪我してるじゃん。」

「お前には関係ないだろ。」

腕輪をつけていない少年は軽くあしらつが、腕輪をつけた少年は、全く笑顔を絶やさなかつた。

「じゃあ関係あればいいんでしょ！」

「は？」

「僕は鷹知 新治、君は？」

「俺は……、現田 宗助……。」

すると新治は右手を差し出した。

「……？」

何をしているのか分からない宗助の様子を見ると、新治は俺の右手を無理やり自分の方に引き寄せて

無理矢理握手させた。

「これで僕たちは友達！もう関係ないなんて言わせないよー！宗助！」

「はあ？」

そう言って新治は今まで見たことのない程の満面の笑顔を見せてくれた。

この日、旧人類の希望がこの世界ではじめて生まれた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8473z/>

旧人新世界

2011年12月26日21時05分発行